

## 韓国放送局などサーバーダウン、政府が警戒態勢に

2013/3/20 20:12 | 日本経済新聞 電子版

【ソウル＝小倉健太郎】韓国で20日、放送局や銀行などでサーバーが一斉にダウンした。放送は続けたが銀行では一時、ATMが使えなくなるなど業務に支障が出た。韓国政府はハッキングにより不正プログラムが仕掛けられたとみて調査を急ぐと同時に、サイバー攻撃の可能性も念頭に警戒態勢をとっている。

午後2時すぎ、KBSテレビ、MBCテレビ、YTNテレビ、新韓銀行などで一斉に異常が発生した。放送局ではパソコン数百台が起動できない状態になった。新韓銀行では窓口業務やインターネットバンキングでも遅延などの障害が起きたという。

韓国政府は官民軍の合同組織「サイバー危機対策本部」を設置し、状況把握や原因究明を進めている。これまでの調査では不正プログラムにより異常が発生したとみているが詳細は不明。異常が発生した放送局などはいずれも同一企業の通信システムを使用しているものの、トラブルとの因果関係は分かっていない。

韓国など関係国への挑発を強めている北朝鮮との関連について国防省は「現時点では把握できていない」としている。政府はサイバー危機に関する警報として5段階中3番目に相当する「注意」を発令。通常の3倍以上の人員を配置して追加的な異常がないかなどの監視を強めている。国防省も同日、情報作戦の防護体制のレベルを5段階中の3へと1段階引き上げた。

**NIKKEI** Copyright © 2013 Nikkei Inc. All rights reserved.

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。